



# 主催者コメント



「健康のまちづくりアカデミー」に関心を持っていただきありがとうございます！  
福井県最西端・高浜町では、平成16年より急激に町内の医師数が減少し、平成20年には約1/3までになりました。危機的な状況に、住民、行政、医療関係者が声を掛け合い手を取り合い、何とか危機的な状況を乗り越えて参りました。  
医師数が元の水準まで戻ってきて宥堵したのもつかの間、今度は人口減少社会、消滅可能性都市の問題が浮上し、まちで医療の問題だけを考えていることの限界に行き詰まりました。そこで今度は「医療づくり」から「まちづくり」へと視点を広げ、地域主体に取り組んでいるところです。

今、医療だけでなく、あらゆる分野で、同じことが起きているように感じます。  
つまり、それぞれの分野で取り組んできたことに限界が訪れ、まちづくり・地域づくりの視点へと切り替えることを求められていると。  
その必要性を理解されるみなさんがまず、まちづくりを効果的に学んで、全国各地の救世主になっていただきたい。住民—行政—専門職が協働できる素地のある高浜町で、地域づくり・まちづくり・ひとづくりからだづくりの専門職が連携して教育できる福井大学の全学部の教員や特別講師のもとに、実践しながらあらゆる分野の協働を実現させてほしい。  
そんな思いから、このセミナーは生まれました。

皆さんが「まちの気持ちが分かる、まちの救世主」としてまちを救うことを、心より願っています。

主催者を代表して  
福井大学医学部地域プライマリケア講座 井階友貴

